

# 第3回上島町学校の在り方検討委員会資料（第2回資料に加筆）

令和7年7月27日

## 上島町立小中学校 学校適正配置について

### (1) 小学校

	形態	方法	メリット	デメリット
①	1校に統合	弓削小を使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設規模(運動場、体育館)に余裕がある</li> <li>・教室数に余裕がある</li> <li>・オープンスペースがある</li> <li>・魚島小との交流が容易</li> <li>・(弓削港→弓削小約1km 徒歩約10分)</li> <li>・高い場所に立地</li> <li>・避難所(体育館)：地震・津波・台風高潮・豪雨土砂</li> <li>・一時避難場所(駐車場)：地震・津波</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩城方面からの移動距離が長くなる</li> <li>・(岩城小→弓削小約15km 約20分、生名小→弓削小約6km 約10分)</li> </ul>
②	1校に統合	生名小を使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスペースがある</li> <li>・岩城、弓削の中間地点</li> <li>・校舎が一番新しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場の狭さ</li> <li>・(弓削小9,907m<sup>2</sup>、生名小2,380m<sup>2</sup>、岩城小7,220m<sup>2</sup>)</li> <li>・魚島小との交流が難しい</li> <li>・(弓削港→生名小約5.2km 約10分)</li> <li>・低い場所に立地</li> <li>・避難所(体育館)：地震・台風高潮・豪雨土砂</li> <li>・一時避難場所(グラウンド)：地震</li> </ul>
③	1校に統合	岩城小を使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設規模(運動場)に余裕がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える</li> <li>・個別施設計画により、長寿命化は不適切</li> <li>・弓削方面からの移動距離が長くなる</li> <li>・(弓削小→岩城小約15km 約20分、生名小→岩城小約10km 約15分)</li> <li>・魚島小との交流が難しい(弓削港→岩城小約14km)</li> <li>・低い場所に立地</li> <li>・避難所(体育館)：地震・台風高潮・豪雨土砂</li> <li>・一時避難場所(グラウンド)：地震 ヘリ離発着場所</li> </ul>
④	2校に統合	・弓削小 ・生名小 (生小+岩小)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩城方面からの移動距離が緩和される</li> <li>・統合の変化が最小限に抑えられる(弓小変化なし)</li> <li>・同規模校が2校できる</li> <li>・弓削小は高い場所に立地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある</li> <li>・生名小は低い場所に立地</li> </ul>
⑤	2校に統合	・弓削小 ・岩城小 (生小+岩小)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合の変化が最小限に抑えられる(岩小変化なし)</li> <li>・同規模校が2校できる</li> <li>・弓削小は高い場所に立地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩城小が標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える</li> <li>・個別施設計画により、長寿命化は不適切</li> <li>・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある</li> <li>・岩城小は低い場所に立地</li> </ul>
⑥	2校に統合	・弓削小 (弓小+生小) ・岩城小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合の変化が最小限に抑えられる(岩小変化なし)</li> <li>・弓削小は高い場所に立地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩城小が標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える</li> <li>・個別施設計画により、長寿命化は不適切</li> <li>・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある</li> <li>・岩城小は低い場所に立地</li> </ul>
⑦	2校に統合	・生名小 (弓小+生小) ・岩城小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合の変化が最小限に抑えられる(岩小変化なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩城小が標準的耐用年数60年を令和9年度に迎える</li> <li>・個別施設計画により、長寿命化は不適切</li> <li>・R11年度以降、学校適正化(統廃合)を再考する必要がある</li> <li>・生名小、岩城小とも低い場所に立地</li> </ul>

### (2) 中学校

	形態	方法	メリット	デメリット
ⓐ	1校に統合	弓削中を使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎が新しく、バリアフリー化(エレベーター)</li> <li>・魚島中との交流が容易</li> <li>・(弓削港→弓削小約1km 徒歩約10分)</li> <li>・デジタルサポートルーム設置</li> <li>・一時避難場所(弓削小駐車場)</li> <li>・ヘリ離発着場所：グラウンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩城方面からの移動距離が長くなる</li> <li>・(岩城中→弓削中約10.5km 約18分)</li> <li>・低い場所に立地</li> <li>・避難所(市民体育館)：地震・豪雨土砂</li> </ul>
ⓑ	1校に統合	岩城中を使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室数に余裕がある</li> <li>・高い場所に立地</li> <li>・避難所(開発総合センター)：地震・津波・台風高潮</li> <li>・一時避難場所(グラウンド)：地震・津波</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弓削方面からの移動距離が長くなる</li> <li>・(弓削中→岩城中約10.5km 約18分)</li> <li>・魚島中との交流が難しい</li> <li>・(弓削港→岩城中約9.5km 約20分)</li> <li>・周辺道路が狭く、災害時の避難・援助が困難</li> </ul>

### (3) 魚島小中学校

・地元生がいなくなっても、離島留学制度を継続予定